

5/12
5.12

「共謀罪」阻止へ連携

総がかり行動実行委など 国会前でコール

市民の人権を脅かし、内心の自由を奪う「共謀罪」法案に反対する行動が、全国各地で連日行われている。「総がかり行動実行委員会」と「共謀罪NOI実行委員会」は11日夜、衆院第2議員会館前で行動しました。600人（主催者発表）が集まり、「市民」と野党が連携して廃案に追い込んでいこう」と訴え。「監視社会をつくらせないぞ」とコールしました。

安倍政権は、国会での審議も深まらないままに、来週中にも同法案の衆院採決を狙っています。東京都港区から参加した荒川寛（さん）（63）は、「こんな政治はおかしい。私一人では微力だが、多くの人が行動して止めていきたい」と話します。

議員会館前でスピーチした、安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合（市民連合）の中野晃一さん（上智大学教授）は、「国家を私物化する人たちを許してはいけません。私たちが諦めたら彼らの思うつぼです。『共謀罪』法案を廃案にして、安倍政権を退陣に追い込んでいこう」と語りました。

主催者あいさつした、高田健さん（総がかり行動実行委共同代表）は、「強行採決など

とんでもない。世論の力で阻止しよう。野党ともしっかり連携していこう」と呼びかけました。

民進党の佐々木隆博、日本共産党の宮本岳志の両衆院議員、社

民党の福島瑞穂参院議員が参加し、あいさつしました。